

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 026-273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 026-273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所（新庁舎） 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 12月19日（日）

師走、忙しく時が過ぎがちです。家の掃除や片づけなど、新しい年を迎える準備を家族一人ひとりが協力して行い、互いに助け合い、協力できる家庭づくりに努めましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

『子どもの身になって』

八幡地区少年補導員

千葉県八街市の飲酒運転による小学生死傷事件は、全国の通学路点検見直しという事態に進展している。我が千曲市の見直しは、どのように進んでいるのだろうか。

昨年度街頭指導で、八幡地区通学路を点検してみると、傾いたブロック塀・角がとび出した鉄板・スピードを出す車が多い県道等に気付き報告することができた。

今年初めての街頭補導は、8月八幡小の先生とPTA代表との合同補導であった。M先生の案内で、学区で最も危険とされている保育園北のT字路へ行った。国道バイパスから武水別神社へ通ずる市道は、横断歩道のあるT字路付近でS字型になっている。そのため児童が横断歩道を渡る時、車が走って来るのを見通せなくて危険なのだ。4年前、この場所にゴミ収集所の倉庫があつて、移転させてもらいほっとしていたが、危険は解消されていなかった。

子ども達が気にかかり、登下校時にこのT字路に行ってみた。登校班の数名で歩いている中の3年生位の女子が突然倒れた。「大丈夫？」と声を掛けると、すぐに立ち上がって元気に歩き始めた。よく見ると、道路脇が10cm程の段差になっていて、そこにはまって転んでしまったのだ。子ども達は分厚い教科書等で重いランドセルを背負っている。月曜は、体育着、給食着等荷物が重い。ちよつとバランスを崩して倒れてもおかしくない。車が走って来る道路側へ倒れたら一大事である。

この箇所子どもの身になって調べてみると、横断歩道すぐ手前の側溝の蓋に巾10cmのすき間がある。横断歩道を渡る時、子どもの目線で見ると、保育園のフェンスや柵の木で車が来るのが全く見えない。南の59cm歩道と収集所跡の更地には10cm～50cmの段差になっていて危険。早急に改善を望みたい。

八幡に競輪場外車券売場がオープンし、児童の下校時八幡の現旧区長が毎日パトロールをしている。青色防犯パトロール車の早期運行を!!

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 年末の心もみがく大掃除 —

～ 11月の定例補導委員会議より～

11月5日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 声かけ事案の認知状況
 - ・千曲市は9月末の状況で、15件認知されています。
2. ライポ君メールより
 - ・9/27 16:00～16:10の間、倉科地籍（旧倉科郵便局付近）において、下校中の児童が男から身体を触られる事案。
 - ・9/30 19:30～19:45の間、新田地籍更埴中央公園において、公園内の女子生徒に男から「彼氏いるの」「キスとかするの」等と声をかけられる事案。
3. 千曲警察署生活安全課資料（県内の声かけ事案）より
 - ・曜日別声かけ状況：火曜日、水曜日が多く、小学生への声かけが多い。
 - ・月別発生状況：4、5月が多い。
 - ・場所別発生状況：道路が多い。
 - ・時間帯別発生状況：7時、15時、16時が多い。
4. 11月強調月間にかかわる街頭啓発活動：11月1日（月）しなの鉄道屋代駅にて実施
※11月は『子ども・若者育成支援強調月間』です。



補導日誌から



久しぶりの補導活動で！

10月 5日（火） 3:20pm～4:20

通学路沿い、用水路沿いに、新田地区を廻りました。更埴中央公園では公園内で不審者が出たという情報があり、公園内を一巡しました。時間が早かったためか、小学生はいませんでした。ブランコ、滑り台の遊び場では小さな子が遊んでいました。通学路には稲刈りの季節で用水路の水はほとんど流れていない状態でした。二人の子（一年生）が用水路の縁を渡って冒険していました。新田交差点では、帰る途中の小学生10人ほどを見かけました。みんな寄り道をせずに帰っていきました。中央公園の入口の手前には用水路が公園に入っていく所があります。網を持って二人の男の子が淵に立って小魚、エビをとっていました。おじいちゃんと一緒に、楽しそうでした。

元気に遊ぶ子ども達！

10月 6日（水） 3:30pm～4:30

小船山公園で巡回中、3人の小学生（女の子）が東屋に来て、何やら始めたので声をかけました。人形を使って、ままごと遊びをしていました。また、別の小学生（男の子）5人が自転車で来てブランコを始めました。公園の付近を巡回後、戻ったら中学生男子3人がバスケットボールをしていました。それぞれのグループに終わったら気をつけて帰るように声かけをしました。

秋の日差しの中で！

10月 7日（木） 3:30pm～4:50

コロナの影響で中断した活動が再開され、久しぶりの補導でした。今日は暑さもやわらぎ、秋晴れのさわやかな気候でした。ふるさと公園では、出発時の3時30分頃は、公園には誰もいませんでしたが、4時50分に戻った所、大人11人、保育園児20人位、小屋の屋根下でおやつ等を食べながら楽しんでおりました。また、芝生では、小学生ら10数人がなわとび、ボール遊び、サッカー等、活

発に動いており、にぎやかな姿が見られました。歴史公園、アグリパークでは、子ども達の姿はみられませんが、屋代中学校へ向かう街道では、7人、3人、3人、2人と組になって自転車で帰る中学生がそれぞれ大きな声で挨拶をしてくれ、元気をもらいました。屋代中学校では、校庭、体育館で部活の元気な声が聞こえ、皆で『早くコロナが収まってくれ』と願いました。

危険個所をチェックしました！ 10月 8日（金） 3:30pm~4:30

残暑厳しい日だったので、人通りはあまりありませんでした。パンダ公園にお母さんと2人の子供が楽しそうに遊んでいました。通学路を治田小学校へ向かって歩いて行ったら、多勢の小学生が下校してきました。どの子も元気よく「こんにちは」とあいさつしてくれました。気をつけて帰るように声をかけました。

子ども達が安全に通学できますように！ 10月11日（月） 3:30pm~4:30

八幡保育園に隣接している道路は通学路になっており、小学校から頂いた通学路及び注意・危険個所を示した地図にも「見通しの悪い横断歩道」「歩道狭く危険」となっている個所を見回り、確かにその通りであることを確認しました。その一部については、修繕工事の話もあるようなので、事故等が起きる前に改善されることを望みます。また、通学路にあるブロック塀が道路側に傾いており、わずかな衝撃でも倒れそうな危険個所があります。家の所有者、或いは、近隣の方も気付いていると思われ、注意を促す目印として、赤いコーン（ロードコーン）が一つ置いてありました。事故が起きないように祈っています。

火事にも気をつけないと！ 10月20日（水） 3:30pm~4:30

この時間帯だと子ども達の姿はどの施設にもありませんでした。元船山神社に「禁煙」の看板が新たに設置された。最近、境内で喫煙する人を見かけるようになったためとのことです。特に、秋は落葉の季節なので、警戒しているようです。駅前交番では、「千曲市で再び特殊詐欺が発生しているので注意を呼びかけて欲しい」との要請を受けました。

安全に通学できますように！ 10月21日（木） 3:30pm~4:50

車で倉科の三滝川堤防強化工事をしている場所に移動しました。歩いて見通しの良い所から工事車両が児童の通う通学路を横切る所を中心に見ていると、安全に配慮して運転しているとはいえ、車両が出入りする場所に交通規制する監理者がいなく、児童の下校途中に事故に巻き込まれることが心配です。区長さんにお話をして、安全対策を取っていただくようお願いする事にしました。（生萱区の所も含む）工事期間中、児童が安全に通学できる事を祈ります。

気をつけて歩いてね！ 10月22日（金） 3:30pm~4:30

屋代高校前駅では駅管理人さんから周辺の状況について聞きました。「ここは、インターに近く、周囲にモーター等いろいろな施設があるので、見知らぬ色々な人が訪れる」「駅のトイレも最近いたずらが発生した」と話をしていただきました。更埴インター地下道は複雑に入りこんでおり、蛍光灯が点灯されていましたが、暗さが目につきました。1人で通るには、不安だと皆で話し合いました。工場団地入口の地下歩道では東側出口から工場団地入口まで密室状態が続いており、通学路にもなっているので、不安に思いました。ここから屋代高校駅に通ずる道路は歩道が整備され、新しく安全柵も設置され、安全面で改善されたようで安心しました。

～わたしのゆめ～

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていています。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「私の将来の夢について」

八幡小学校

小川 寧々

私の将来の夢は、「チアリーディングのコーチとして世界で活躍できるようなチームを作り上げること」です。私は今チアリーディングの選手として練習に励んでいます。いろいろな大会で、優勝や入賞をした時に、私達以上にコーチの方が一番喜んでいました。その時に、「自分が作った演技で、結果を出すと、どんな気持ちになるのだろう。」と思ったことが夢のきっかけです。

夢の達成のために、選手として技に磨きをかけるだけでなく、コーチのアドバイスの仕方にも注目して、話を聞くようにしています。自身の作ったチームで世界一が取れるようにがんばりたいです。

「ぼくの夢」

五加小学校

中村 隼大

ぼくは、将来、ITで世界を変えるプログラムを作って、有名になりたいです。世界で働くとかっこいいからです。夢を実現させるためには、まず日本中のみんながあっとおどろくようなことをして、日本で有名にならなければなりません。どんなプログラムかという、二酸化炭素を吸って酸素を出す機械を作り、世界の温暖化を止めたいです。ボタンを押すと、その仕組みが見えるような機械を作りたいです。

また、世界で活躍するためには、外国の人とのコミュニケーションも大事です。ジェスチャーだけでは伝わりにくく限界があるからです。そのために、これからも勉強をがんばりたいと思います。

「バドミントンのコーチになりたい」

戸倉上山田中学校

芳賀 凜成

僕は小学生の頃から始めたバドミントンの夢中になっています。僕の将来の夢は、バドミントンのコーチになることです。今、指導をしていただいているコーチと出会って僕は県の代表を勝ち取り、全国大会に出場することができました。そんな僕のコーチは、「バドミントンだけを頑張っても強くなれない。」というのが口癖です。なので、毎日靴を揃えたり、挨拶を大きな声でしたりすることにも厳しいコーチです。また、僕がケガをしたときにも「楽な道を選べば見える景色はいつも同じだよ。自分に期待すればワクワクする方へ導かれる。そして自分のためにと考えれば未来は明るい方へ流れていくよ。」と励ましの言葉をくれました。僕はこのコーチのような人間になりたいです。

「僕は昔から有名になりたかった」

戸倉上山田中学校

関 駿介

僕は特に人に自慢できるような特技などはありません。でも音楽が好きです。だから僕は、将来ずっと僕の作った曲が生きているくらい有名な作曲家になりたいと思います。僕が死んでしまった後でも、多くの人の中でその存在が生きているというくらいの存在になりたいです。なので、短い人生でも自分が納得する曲を一度でも多く作り、多くの人達に感動を届けることのできるようにしたいと思います。